

血液グループ

所属メンバー

- ・金田 眞 (助教、平成 5 年卒)
- ・長 祐子 (医員、平成 2 年卒)
- ・佐藤 智信 (生化学医化学分野助教、平成 9 年卒)
- ・市川 瑞穂 (大学院生、平成 12 年卒)
- ・大島淳二郎 (大学院生、平成 12 年卒)
- ・稲本 潤 (大学院生、平成 13 年卒)

外来患者数

1642 人/年

月曜：長 祐子

木曜&金曜：金田 眞

入院患者数

62 人/年

初発患者の疾患

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
ALL	10	9	7	10	9	9	8	5	10
AML	2	5	4	4	6	3	1	2	1
悪性リンパ腫	2	2	1	0	1	1	2	1	4
再生不良性貧血	3	3	0	3	2	2	2	0	1
神経芽腫	1	4	5	5	5	4	3	5	8
Wilms腫瘍	1	2	1	3	1	2	1	0	0
横紋筋肉腫	1	1	1	0	0	0	1	1	2
肝芽腫	1	0	0	1	0	1	0	0	2
網膜芽細胞腫	0	0	0	0	0	0	4	2	1
PNET	3	0	0	0	0	1	0	0	1
LCH	1	0	0	1	0	3	3	2	3
脳腫瘍	0	0	0	0	0	0	4	1	3
Donor	5	6	1	2	3	4	2	7	1

その他 H21 年度は、ITP3 例、TAM1 例、RTK1 例、奇形腫 3 例、検査など 6 例

その他の特色ある診療内容

造血幹細胞移植

	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	
AlloBMT (unrelated)		5	3	4	3	5	4	0	1	1
Allo BMT (related)	5	5	1	2	4	4	2	7	1	
Allo PBSCT	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
CBSCT	3	1	4	11	7	11	4	1	0	
Auto BMT	0	0	1	0	1	1	0	0	0	
Auto PBSCT	0	3	0	0	0	0	2	3	4	

研究内容

造血幹細胞移植の合併症と予後

小児腫瘍性疾患における抗生剤・抗真菌剤の有効性の検討など

小児白血病予後予測因子としての尿中リン、尿中尿酸排泄量の検討

小児の固形腫瘍の原因遺伝子に関する遺伝学的・エピジェネティックな解析

論文・著書など

1. Ohshima J, Haruta M, Arai Y, Kasai F, Fujiwara Y, Ariga T, Okita H, Fukuzawa M, Hata J, Horie H and Kaneko Y: Two candidate tumor suppressor genes, MEOX2 and SOSTDC1, identified in a 7p21 homozygous deletion region in a Wilms tumor. *Genes Chromosomes Cancer* 48: 1037-1050, 2009
2. Furukawa S, Haruta M, Arai Y, Honda S, Ohshima J, Sugawara W, Kageyama Y, Higashi Y, Nishida K, Tsunematsu Y, Nakadate H, Ishii M and Kaneko Y: Yolk sac tumor but not seminoma or teratoma is associated with abnormal epigenetic reprogramming pathway and shows frequent hypermethylation of various tumor suppressor genes. *Cancer Sci* 100: 698-708, 2009
3. Kobayashi R, Sato T, Nakajima M, Kaneda M and Iguchi A: Piperacillin/tazobactam plus ceftazidime versus sulbactam/ampicillin plus aztreonam as empirical therapy for fever in severely neutropenic pediatric patients. *J Pediatr Hematol Oncol* 31: 270-273, 2009
4. 鈴木大介、稲本 潤、市川瑞穂、佐藤智信、中嶋雅秀、三野絵美、鈴木秀久、金田眞、岡田忠雄、佐々木文章、中川温子、小林良二：初発時に両側副腎に病変を認めた乳児神経芽腫症例の検討. *日本小児がん学会雑誌* 46: 25-30, 2009

5. 長 祐子, 飯塚 進, 畑江芳郎, 武田武夫, 内藤春彦, 山城勝重, 有賀 正: 過去 25 年間に経験した小児腎腫瘍 20 例の管理および長期予後に関する検討. 日本小児がん学会雑誌 47: 73-78, 2010

学会発表

1. Kaneko Y, Arai Y, Honda S, Haruta M, Kasai F, Ohshima J, Nakagawara A and Hiyama E: 4q deletion identified by SNP array predicts poor outcome in patients with hepatoblastoma. 第 68 回日本癌学会学術総会、2009/10
2. 大島淳二郎、春田雅之、笠井文生、新井康仁、大喜多肇、秦 順一、福澤正洋、金子安比古: Wilms 腫瘍の 7p21 ホモ欠失領域から同定された候補腫瘍抑制遺伝子 MEOX2 と SOSTDC1. 第 25 回日本小児がん学会、2009/11
3. 市川瑞穂、大島淳二郎、長 祐子、金田 眞、有賀 正: 同種骨髄移植後に心嚢液貯留を認め、GVHD が疑われた 2 小児例. 第 32 回日本造血細胞移植学会総会、2010/2
4. Ohshima J, Haruta M, Kasai F, Arai Y, Okita H, Fukuzawa M, Hata J, Horie H and Kaneko Y: Two candidate tumor suppressor genes, MEOX2 and SOSTDC1, identified in a 7p21 homozygous deletion region in a Wilms tumor. 第 68 回日本癌学会学術総会、2009/10
5. 古川真祐、春田雅之、大島淳二郎、本多昌平、中舘尚也、石井正浩、金子安比古: 胚細胞腫瘍における epigenetic 解析. 第 25 回日本小児がん学会、2009/11
6. 金田 眞、佐藤典宏、稲本 潤、武田 紫、大島淳二郎、市川瑞穂、鈴木大介、長 祐子、有賀 正: 低体重患者における部分交換輸血を利用した自家末梢血幹細胞採取の試み. 第 51 回日本小児血液学会、2009/11
7. 大島淳二郎、市川瑞穂、長 祐子、金田 眞、有賀 正、西田 睦、鈴木大介: 非血縁者間同種骨髄移植後に VOD を発症し、PGE1 と mPSL 投与後に改善した Wiskott-Aldrich 症候群の 1 例. 第 26 回北海道小児血液研究会、2009/10
8. 大島淳二郎、市川瑞穂、長 祐子、金田 眞、有賀 正、藤澤真一、久保田佳奈子、縄手 満、窪田 満: 発症時は自然寛解になったと考えられたため診断がつかず、外来フォロー中に急激な経過をたどった AML (M5a) の 1 例. 第 20 回北海道小児血液セミナー、2010/2
9. 長 祐子、大島淳二郎、市川瑞穂、金田 眞、三浦正義、久保田佳奈子、近藤啓史、有賀 正. 思春期発症 malignant rhabdoid tumor of the kidney (MRTK) の 1 例. 北海道小児がん研究会、2010/3

講演

1. 大島淳二郎、藤原由以子、笠井文生、春田雅之、金子安比古、大喜多肇、新井康仁：
Wilms 腫瘍の 7 番染色体短腕における責任領域と 2 つの候補がん抑制遺伝子に関する解析. 月曜集談会、2009/5/18

社会貢献

・金田 眞

研究会

小児白血病研究会 (JACLS) (運営委員)

委員会

日本小児白血病リンパ腫研究グループ (JPLSG) JMML 委員会委員

小児白血病研究会 (JACLS) ALL 小委員会委員

その他

北海道血液同好会監事

北海道小児血液研究会幹事

北海道小児がん研究会幹事

北海道血友病研究会幹事